



2024年5月15日

各 位

会社名 新田ゼラチン株式会社
代表者名 代表取締役社長 尾形 浩一
執行役員
(コード番号：4977 東証スタンダード)
問合せ先 取締役執行役員 林 和也
管理本部長
電話番号 072(949)5381

営業外収益（連結・個別）、特別損失（連結・個別）の計上及び
通期連結業績予想と実績値との差異並びに個別業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2024年3月期において営業外収益及び特別損失を計上いたしましたので、お知らせいたします。
また、2024年2月13日に公表いたしました通期連結業績予想と実績値及び2024年3月期の個別業績と前期実績値との間に差異が生じたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 営業外収益（連結・個別）の計上について

当社及び当社グループが保有する外貨建債権債務の決済及び期末為替レートによる評価替えにより、連結決算において537百万円、個別決算において603百万円の為替差益を営業外収益に計上いたしました。

2. 特別損失（連結）の計上について

(1) 事業整理損

当社の連結子会社ニッタゼラチンユーエスエーInc. は、2024年1月31日に生産業務を停止したことに伴い、閉鎖関連費用（特別退職金、製造設備の撤去費用等）を事業整理損として118百万円計上いたしました。

(2) 減損損失

当社の連結子会社バムニプロテインズLtd. は、2024年3月期第4四半期会計期間において、同社の製造設備で発生する排水が、マハラシュトラ州公害管理局が定める排水規制に適合しないとの指摘を受けたことに伴い、経営環境が悪化し、減損の兆候が認められたため、減損損失427百万円を計上いたしました。

また、当社の連結子会社ニッタゼラチンユーエスエーInc. は生産業務終了に伴い、2024年3月期第4四半期会計期間において減損損失21百万円を追加計上し、2024年3月期累計期間で1,783百万円計上いたしました。

これらに伴い、通期の減損損失合計は2,210百万円となります。

(3) 生産停止に伴う損失

当社の連結子会社バムニプロテインズLtd. は、上述のとおりマハラシュトラ州公害管理局より排水規制に適合しないとの指摘を受け、2024年3月13日から同社の生産設備の操業を一時的に停止しております。それに伴い、生産停止による休業補償見込額を生産停止に伴う損失として59百万円計上いたしました。

3. 特別損失（個別）の計上について

当社は、2024年3月期第4四半期会計期間において、上記2.（1）に記載の連結子会社ニッタゼラチンユーエスエーInc.の生産業務終了に伴う事業整理損の計上により、同社株式の実質価値が低下したことから、関係会社株式評価損527百万円、貸倒引当金繰入額272百万円を追加計上いたしました。

これにより、2024年3月期第3四半期会計期間に計上いたしました関係会社株式評価損267百万円、貸倒引当金繰入額2,817百万円と合わせて、通期の関係会社株式評価損は795百万円、貸倒引当金繰入額は3,089百万円となります。

なお、当該損失は連結財務諸表上では全額消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

4. 2024年3月期通期連結業績予想と実績値との差異（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A） （2024年2月13日公表）	百万円 40,000	百万円 1,700	百万円 1,700	百万円 △2,400	円銭 △132.23
当期実績（B）	40,420	1,836	2,382	△1,850	△101.98
増減額（B－A）	420	136	682	549	
増減率（%）	1.1	8.1	40.1	－	
（ご参考）前期実績 （2023年3月期）	39,186	2,259	2,248	1,558	85.98

差異の理由

売上高は、日本でのグミキャンディー用ゼラチンの販売及び国内外でのカプセル用ゼラチンの販売が引き続き好調であったこと等により、前回発表を上回りました。

営業利益及び経常利益は、売上高の増加及び為替差益等を計上したことにより、前回発表を上回りました。

親会社株主に帰属する当期純損失は、連結子会社バムニプロテインズLtd.が減損損失を計上した一方で、前述のとおり営業利益及び経常利益が増加したことにより、前回発表から損失額が改善いたしました。

5. 2024年3月期通期個別業績の前期実績値との差異（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績（A）	百万円 22,676	百万円 300	百万円 843	百万円 761	円銭 42.02
当期実績（B）	24,846	907	1,968	△2,408	△132.69
増減額（B－A）	2,170	606	1,124	△3,169	
増減率（%）	9.6	201.8	133.2	－	

差異の理由

売上高は、グミキャンディー用ゼラチン、カプセル用ゼラチンの販売が引き続き好調であったこと及び適正価格への改定を進めたこと等により、前期実績を上回りました。

営業利益及び経常利益は、売上高の増加及び為替差益等を計上したことにより、前期実績を上回りました。

一方で当期純利益は、関係会社株式評価損及び貸倒引当金繰入額等を計上したことにより、前期実績を下回り、当期純損失となりました。

以上